

6-1. 診療科別主要手術別患者数トップ5

内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	32	0.00	1.09	0.00	67.50	大腸ポリペクミー
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-	
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	-	-	-	-	-	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	-	-	-	-	-	大腸ポリペクミー

解説

患者数が10未満の数値には、規定により(-)ハイフンを記入しています。

内科では、内視鏡を用いた大腸ポリープ切除術を多く実施しています。

自覚症状があり来院された患者様はもちろん、健診等で異常のあった方の二次検査としても内視鏡検査を行い、ポリープが見つかった際はその場で切除することも可能です。ただし、患者様の既往歴(持病)や状態等により、後日切除になる場合もあります。

当院ではクリニカルパスを使用し基本的に1泊2日の入院となっています。また、令和元年度で後出血(ポリープ切除部分からの出血)にて再入院となった症例はなく、安心して日常生活を送っていただけるよう努めています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	-	-	-	-	-	-
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	-	-	-	-	-	大腸ポリペクミー
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	-	-	-	-	-	-
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓形成)	-	-	-	-	-	-
K672	胆嚢摘出術	-	-	-	-	-	-

解説

患者数が10未満の数値には、規定により(－)ハイフンを記入しています。

外科では、鼠径ヘルニア手術が最も多い結果でした。

胆嚢摘出術は、開腹手術と腹腔鏡下手術(腹部に穴を開け胆嚢を摘出)があり、当院は侵襲の少ない腹腔鏡下手術を多く実施しています。

しかし、腹腔鏡下手術中、開腹手術に移行する症例もあります。

入院期間が8日のクリニカルパス(治療のスケジュール表)で管理しており、この症例の約8割がクリニカルパス期間内の退院を実現しています。

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	37	1.62	12.43	13.51	81.73	慢性硬膜下血腫
K1742	水頭症手術(シャント手術)	－	－	－	－	－	－
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング(1箇所)	－	－	－	－	－	－
K178-4	経皮的脳血栓回収術	－	－	－	－	－	－
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	－	－	－	－	－	－

解説

患者数が10未満の数値には、規定により(－)ハイフンを記入しています。

脳神経外科では、高齢者の慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術が昨年度に引き続き多く、脳神経外科手術実施症例の約3割という結果でした。

高齢の方が転倒などで頭を打った後、しばらくしてから頭痛や歩行障害などの症状が出現し受診・手術実施となった症例が多くなっています。

当院で昨年度、慢性硬膜下血腫と診断された症例の約8割が、入院決定後まもなく慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術を実施しています。

血腫の外因(血腫を発症するきっかけとなった出来事)は、転倒次いで交通事故、転落の順となっています。